



10月早朝レース、スタート後  
小島沖に向かう優勝艇、弥栄

目次	行事予定
表紙 10月早朝、佐久島レース P 2 弥栄優勝記 P 3 参加艇の一言コメント P 4、年間成績（残すは1レース） P 5 東海チャンピオンシップ報告 P 6 三後さんを偲ぶ	11月19日 ラグーナ合同レース MCC11月ポイント スモール11月ポイント 11月25日 外洋東海年末パーティー 白谷YC年末懇親会 12月9日 MCC年末パーティー

## 早朝レース2連勝 弥栄

雨の中早朝から頑張った甲斐がありました。仲間のお陰で修正1位。ありがとうございます。前回の6月のレースといい、今年のMCCの早朝レースとは、〈弥栄〉は相性が良いようです。

定刻スタート。しとしと降る雨がづらい

第1マーク（豊橋沖）は、リーチングでまっすぐ向かえそうだ。さっそくスピンを上げる。

この時は、結構風もあり、スピードはぐんぐん上がる。

見かけの風もどンドン前に移動。スピンプールをフォアステイに触れるぐらいに出さなければならなくなり、スピんで走るのはきつくなった。ジブセイルを上げるホーネットもアルミスもマークに効率よく近づいているよう、弥栄は、よく走っていたと思うけれど、マークとの距離は少し離れてしまった。



第1マークを3着で回り、修正順位はこの時2位。良い調子

次のマークは、佐久島と梶島のちょうど間にある観測ブイ。長いレグだ

ここは先行する船にできるだけ離れないようにしたい。

できたら差を縮めたいところだ…と、ちょっと欲も出たが、陸寄りに走りすぎたようだ。半島の影となったのか、風もガクンと落ち、2艇とみるみる差がつく。



すでにマークを折り返してきた先行艇との差やその走り具合を確認し、早々にあきらめムードの私をクルーが叱咤しながら、折り返し地点の第2マークに向かう。

第2マーク回航。順位3位、修正は3位。大いに遅れる。

しかし、折り返してしばらく走ってみると、意外と先行く2艇との距離は離れない、むしろ近づいているんじゃないかと感じる。

朝風で、前を行く船はほとんど進んでいないようだ。そうなると、やる気ががぜん出てきた。

若いクルーが集中力を切らさないよう頻りに声掛けする。全く現金なスキッパーだ。

こちらも、同じように風も弱くなり辛いところですが、諦めずに、まめにセイルトリムするなどして走らせる努力を続ける。

しばらくすると風も吹き出し、後続の我々から走り出した。さすがに追いつくことはできなかったけれど、それまでの差を挽回するだけの走りができた。

第3マーク回航 着順3位修正1位。これは、いけるかも

豊橋マークからは、アビーム一本、よく走っている。このままゴールに流し込みで逆転か！？と思ったところで、風位がふれ、風がどんと落ちた。あー

「無理せずタックをしましょう」クルーの冷静な声に集中力を取り戻す。

最後はヒヤッとさせられましたが、望外の成績を収めることができた。仲間のおかげだ。





# 10月早朝、佐久島レース、一言コメント

## 弥栄

MCCの早朝レースは、今年は相性が良いみたい  
朝のなぎに助けられて前回6月に続いて望外の成績を収めることができました。  
ありがとうございます。



## ホーネット

スタート後、ライバルのアルミスはスピンを揚げなかったのに対し  
ホーネットは豊橋ブイ迄にスピんでできるだけリードをと思ったがわずかなリードしか確保  
できなかった。

その後、風が振れたりなくなったりする中、追われ、追いつかれしながらも  
こちらに若干有利な風となったこともあって、かろうじてファーストホ  
ームを取れました。



## アルミス

本日も3名での参加。  
風が上がるとホーネットに追いつき、風が落ちるとホーネットに遅れるという展開でした。  
帰路の豊橋マーク回航後、スピンを揚げ続けて一時はホーネットに追いつきましたが  
風が振れセール交換に手間取り遅れてしまいました。

コメン ト	冷たい雨の降る中の早朝佐久島レース。、集まったのは3艇のみ 弱い風の予報だったがスタート時は手頃な風があり楽しみだ 艇長会議では、雨だし、風も少なそう短縮コースとしてスタートした。 アルミスがまず先行、弥栄が続く。ホーネットはすかさずスピンを展開し追いかける、弥栄もスピニアップ。 豊橋はホーネット、アルミス、弥栄の順。佐久マークも同様。 復路の途中で風が落ちその後は後ろから風が。後続の弥栄が断然有利に。 その後も風は落ちたり振れたり悩まされながらフィニッシュ。修正の結果は追い上げた弥栄がダントツで優勝 しました。							
	セール	艇名	TYPE	MRC	到着時刻	着順	所要時間	修正時間
6764	Iyasaka	Aiolos 26	0.924	11:45:57	3	4:45:57	4:24:13	1
5791	Hornet	Seam 31	1.009	11:30:29	1	4:30:29	4:32:55	2
4774	Armis 5	J/V9.6CR	1.010	11:33:35	2	4:33:35	4:36:19	3

### 途中経過 豊橋マーク

6764	Iyasaka	Aiolos 26	0.924	7:35:58	3	0:35:58	0:33:14	2
5791	Hornet	Seam 31	1.009	7:31:29	1	0:31:29	0:31:46	1
4774	Armis 5	J/V9.6CR	1.010	7:33:06	2	0:33:06	0:33:26	3

### 佐久島マーク

6764	Iyasaka	Aiolos 26	0.924	8:53:26	3	1:53:26	1:44:49	3
5791	Hornet	Seam 31	1.009	8:36:31	1	1:36:31	1:37:23	1
4774	Armis 5	J/V9.6CR	1.010	8:37:02	2	1:37:02	1:38:00	2

### 豊橋マーク

6764	Iyasaka	Aiolos 26	0.924	10:49:21	3	3:49:21	3:31:55	1
5791	Hornet	Seam 31	1.009	10:46:15	1	3:46:15	3:48:17	2
4774	Armis 5	J/V9.6CR	1.010	10:47:13	2	3:47:13	3:49:29	3



# 第42回 東海チャンピオンシップ 準優勝

Boomerang (JPN 5131) 代表 沢田一彦

2014年・15年と 東海チャンピオンシップには 幸いにも過去 2年連続優勝をする事が出来ましたが その後の2016年と今年前半のレースは 殆どが思うような走りが出来ず不振続きに中 もう「Boomerang」の時代は終わったと思っ  
ていました。

しかし 8月のデニスコーナークップでは TRS 部門で「Boomerang KY」(J/24)が総合優勝をして 「Boomerang」(J/92)が準優勝とタイトルを独占し IRC部門でも優勝をしました。

今回の 東海チャンピオンシップでは 強風のコンディションにも拘らず 何と準優勝をすることが出来ました。

特に初日のディスタンスレースでは 風速13m/sオーバーの一色沖の三河湾強風域内を 大型艇と一緒に帆走しての第2位は 今までに無い自信となりました。

この勢いで 二日目の強風のレースでも 先行艇がスピントラブルでドタバタしている間に 大きなトラブルも無くそのままフィニッシュをして 第2位に……第3レースは スタートの失敗で360度回転をし 少し出遅れての第6位に……第4レースは 堅く慎重にスタートをして 全艇の位置を確認しながらそのままミスも無くフィニッシュをして 第2位に……

そして今までは 強風では絶対に勝たなかったレースでも 安定した走りが出来て思いも寄らない 総合で準優勝となりました。

今回の結果を反省すると ほとんどミスをしないクルーのチームワークで 強風でもトラブルが無く順調に完走して 大型艇と一緒に絡み争う事が出来たのが勝因だと思いました。

まだまだ 25歳の老艇「Boomerang」(J/92)でも 暫くは十分に頑張れると 実感をしました。



## \*\*\*\*\* RACE INFORMATION \*\*\*\*\*



RACE Name 第42回東海チャンピオンシップ  
Class IRC Class (Total)  
Course Type INSHORE×3 Distance ×1



JSAF IRC Inside

## \*\*\*\*\* Entry List and RESULT \*\*\*\*\*

## 総合

	Yacht Name	TCC	Race1	Race2	Race3	Race4	合計	Cut	得点	順位
1	JPN 4004 Paraphrenian	1.062	1	1	2	4	8.25		8.25	1
2	★ JPN 5131 Boomerang	0.984	2	2	6	2	12.5		12.5	2
3	JPN 2500 HORIZON 6	0.986	5	5	4	1	16.25		16.25	3
4	JPN 6352 SEA FALCON	1.054	7	3	3	3	17.75		17.75	4
5	JPN 6082 CIERVO	1.061	4	7	5	7	24		24	5
6	JPN 3792 SAIKI	1.008	3	4	8	9	24.75		24.75	6
7	★ JPN 5791 HORNET	1.009	8	6	7	8	31		31	7
8	JPN 5055 NARUMI	1.032	6	10	9	5	31.5		31.5	8
9	★ JPN 5550 SUPER WAVE VI	0.983	13	9	1	6	32.25		32.25	9
10	★ JPN 5933 Dancing Beans III	1.009	10	8	10	10	40.5		40.5	10
11	JPN 6757 MONDAY NIGHT	1.278	9	13	13	13	50.25		50.25	11
22	JPN 5563 ELDORADO VI	1.040	13	13	13	13	55.25		55.25	12



MCC海のたより11月号・MCC海のたより11月号・MCC海のたより11月号



# 三後さんを偲ぶ

MCC会長 中村 孝

海・ヨットをこよなく愛し、楽しんだ三後光夫さんが10月20日 急逝いたしました。

8月末に胆管癌の発病を知り治療に専念しましたが病はすでに重く治療は進められませんでした。10月12日に入院後は一緒に楽しんだ皆さんに知らせる間もない急逝でした。

三後さんはMCC発足時からの会員です。中学時代に友人から舵誌を紹介されヨットを知り、早くからディングーで長距離航海をした後早々にクルーザーのオーナーになりました。MCC発足時には自艇を手放してBW24「うらなみⅢ」の共同オーナーでした。

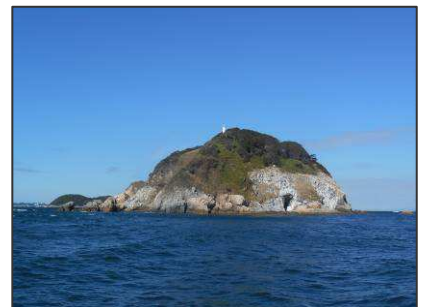
一時名古屋に移りましたが犬飼港にFarr727「もどき」を係留。三谷漁港にFuji32、ヤマハ31EX「珊瑚」に乗り換えて夫婦で三河湾を楽しみそのオンドリ夫婦ぶりは皆さんご存知の通りです。

最近10年では瀬戸内のクルージングが定番で愛犬メイが元気なうちは愛犬を同伴してのクルージングで瀬戸内の島々、港々を巡り航跡を残しました。九州、天草、屋久島、種子島へも行く予定で準備していましたがその夢はかないませんでした。

アクアマリン、中村と三後の付き合いは千枝子さんがアクアマリンのクルーであったところからです。廻航クルージングに何度も同行いただきました。FBⅢの和歌山廻航、31Sのシーボニアからの廻航、31Sでの阿波踊りレース廻航と参戦。エリカ号の名古屋からの廻航もありました。エリカカップレース立ち上げの頃はヨットレースの参加でなく運営協力によく応援していただきました。蒲郡マリンカップでは初回からずっと19年間お手伝いいただきました。三谷漁港係留開始時の係留ブロック設置、栈橋設置作業。遊漁船「辰巳丸」の改造、新造での共同作業も楽しい思い出。中村から頼むことは多々ありましたが頼まれることが少なく持ちつ持たれつでなく持たれればなしだったことが気になります。三後さんありがとうございました。

葬儀は身内だけで執り行なわれお見送りができませんでしたが12日、遊漁船辰巳丸で散骨式を実施、お見送りしてきました。こちら乗員数に制限があるため皆さんをお誘いできず済みませんでした。当日は三後さんの思い出の海域、猿ヶ島、梶島、宮崎漁港、佐久島南沖、野島一周、佐久島入ヶ浦、大島、小島、仏島、旧蒲郡ヨットハーバー、三谷漁港を巡り三河湾を一周。途中、三後さんが三河湾出航、帰航時の起点終点としていた野島沖で散骨、献酒、献花、黙祷、ご冥福をお祈りいたしました。

なお、「珊瑚」はハニービーの三戸、佐々木夫婦が引き継ぎます。



MCC海のたより11月号・MCC海のたより11月号・MCC海のたより11月号